

あまみ 奄美大島の マングース こんぜつせんげん 根絶宣言のお話 はなし

ひるま 昼間はまだまだ暑い日が続いていますが、よる すず 夜は涼しさを感じる日もあります  
ね。あき 秋の虫も草むらでなきはじめているようです。らいしゅう かようび 来週の火曜日にはお月見の  
日である「ちゅうしゅう 中秋の名月」もせまっています。だんだんとあき あしおと き 秋の足音も聞こえてき  
ている、ということでしょうか。

せんしゅう かんきょうしょう 先週、環境省が あまみ おおしま 奄美大島の マングース こんぜつ 根絶した という せんげん 宣言を出した  
ことがニュースになりました。テレビでみた、という人もいるかもしれませんが、  
こんかい 今回はこのニュースについて つぶやこう おも と思います。

マングース (ファイリマングース) は、もともと にほん 日本にはいない どうぶつ 動物ですが、ネ  
ズミやへび とく くにハブ) のくじよ もくてき 駆除を目的として 1910 年ごろに おきなわじま な はししゅう 沖縄島 (那覇市周  
へん 辺) に、1979 年ごろに あまみ おおしま どうにゅう 奄美大島に導入されました。



ファイリマングース (写真は環境省)



ハブ (写真は Wikipedia)

当時はハブ毒に対する血清がなく、ハブにかまれることは死亡や重い後遺症の原因となっていました。また、ネズミは農業に対する被害が大きく、これらに対する生物的防除（天敵に捕食させることで駆除する方法）として期待されたという背景があります。

しかし、ネズミやハブが夜行性であるのに対し、フィリマングースは昼行性であったことなどから、フィリマングースによるネズミやハブの駆除は思うように進みませんでした。

かわりにマングースに狙われるようになったのが、奄美大島の固有種（そこで見られない種）であるアマミノクロウサギやアマミトゲネズミ、アマミイシカワガエルなどを含む動物たちや、島の農作物です。マングースは雑食のため、固有の動物たちがマングースに襲われることで個体数や繁殖域を減らす、農作物が被害にあう、という事態を招いてしまいました。



アマミノクロウサギ（左）とアマミトゲネズミ（右）（写真は Wikipedia）

そこで1993<sup>ねん</sup>年から、名瀬市<sup>な ぜ し</sup>（現在の奄美市<sup>げんざい あまみ し</sup>）などがマングースの計画的な駆除<sup>けいかくてき く</sup>にのりだします。ヒトが持ちこんでおきながら今度は駆除<sup>こんど くじょ まわ</sup>に回る、というなんとも自分勝手<sup>じぶんかって</sup>で、マングースにとっては迷惑<sup>めいわく はなし</sup>な話<sup>はなし</sup>ですが、島の生態系<sup>しま せいたいけい</sup>を守ることを優先<sup>ゆうせん</sup>した形<sup>かたち</sup>になります。

長くなるので次回に続きます。

24/9/13 （私も自分勝手な人間の1人） あん Do

参考：

[https://www.env.go.jp/press/press\\_03661.html](https://www.env.go.jp/press/press_03661.html)

環境省による根絶の宣言



<https://kyushu.env.go.jp/okinawa/awcc/mongoose.html>

奄美野生生物保護センターによる取り組みの紹介



<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%95%E3%82%A4%E3%83%AA%E3%83%9E%E3%83%B3%E3%82%B0%E3%83%BC%E3%82%B9>

Wikipedia のファイリマングースのページ



[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%8F%E3%83%96\\_\(%E5%8B%95%E7%89%A9\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%8F%E3%83%96_(%E5%8B%95%E7%89%A9))

Wikipedia のハブのページ



<https://www.serum-therapy.com/about/>

血清療法についての解説ページ（新札の顔に採用された北里柴三郎の功績紹介など）

